

ネパール経済ニュース（18年3月）ヘッドライン

経 済	
産業 エネルギー インフラ	<p>(1) 17日、建設中のアップパー・タマコシ水力発電所（456MW）の建設費が、当初の予定を大幅に上回り、500億ルピーになる見込みである。同水力発電所の工期は延長を繰り返しているが、2019年6月に建設が完了することを見込んでいる。</p> <p>(2) 25日、ネパール航空局関係者は、進捗が遅れているゴータムブッダ国際空港建設の工期を2019年9月にする旨述べた。</p>
金融 財政 税制 物価	<p>(1) 7日、ネパール財務省は、今会計年度予算の中間レビューを行い、歳出予算を1兆2789.9億ルピーから、1兆829.9ルピーに縮小することを決定した。歳出予算縮小の内訳は、一般歳出を7,389.4億ルピー（当初の91.96%）、資本支出を2,346.2億ルピー（当初の70%）、財政投融资を1,094.2億ルピー（当初の78%）。なお、財務省は、今会計年度の経済成長率の目標を7.2%から6%に訂正した。</p> <p>(2) 30日、カティワダ財務大臣が経済白書を発表した。同大臣は、震災復興事業の進捗の遅さ、開発プロジェクトの進捗の遅さ、インフォーマル経済の拡大、金融機関のローンの不安定さ、金融機関の不健全な競争、金融機関に対する国民のアクセスの低さ、貿易赤字の拡大等がネパール経済を後退させている旨述べた。</p> <p>(3) 31日、ラム・シャラン・マハト元財務大臣（ネパール・ कांग्रेस）は、カティワダ財務大臣が発表した経済白書に関し、ネパール経済を悲観的に見せるため、断片的なデータを利用したものであると批判した。</p>
観光 貿易 投資	<p>(1) 3日、商業省貿易輸出振興センターと国際貿易センター（ITC）の共催で、「どのように中国に輸出するのか」と題したセミナーが開催された。同セミナーでは、参加者に対し、中国への輸出に関する規制や非関税措置等に関する情報が提供された。</p> <p>(2) 24日、中央銀行によると、2017/18年度当初7ヵ月における中国への輸出額は17億7000万ルピー（前年同期比72.3%増）であった。特に、羊毛カーペット、パシュミナ、手工芸品等の輸出が増加した。</p> <p>(3) 27日、産業局によると、2017/18年度当初8ヵ月におけるコミットメントベースの海外投資額が約380億ルピー（前年同期比230%増）であった。産業局関係者は、大規模な海外投資が同局によって許可されたこと及びネパールの政治の安定化が、海外投資額増加の原因である旨述べた。</p>